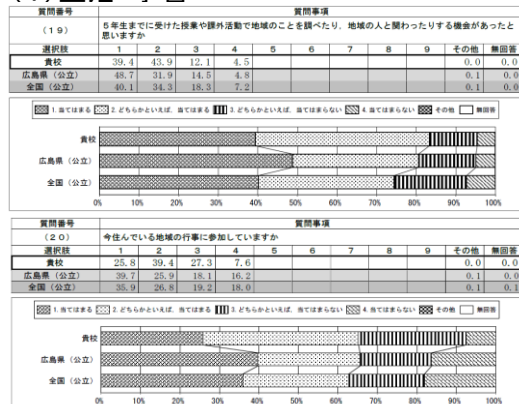


平成30年度 指導方法等の改善計画について【質問紙】

海田町立海田小学校

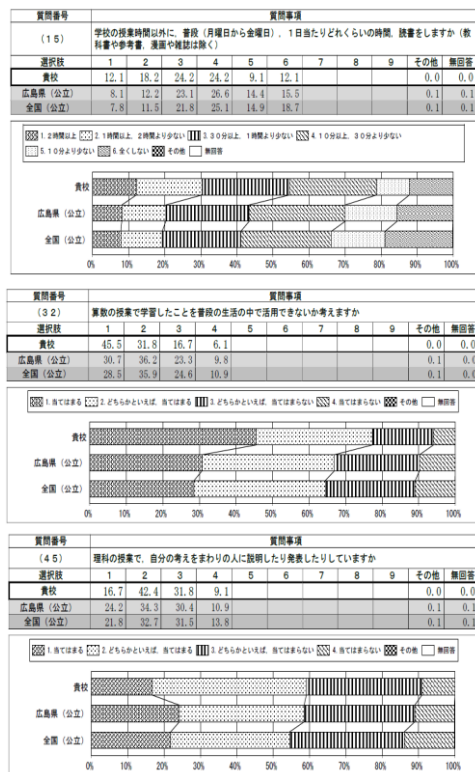
(全国学力・学習状況調査 質問紙)

(1)生活・学習



児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
(19)5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり地域の人と関わり合う機会があったと思いますか」の項目の積極的肯定評価が39.4%、(20)「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目の積極的肯定評価が25.8%と県の割合をそれぞれ約10%、15%下回っている。	○総合的な学習の時間や学校行事などを通して、地域との連携を図り、地域での活動に参加することの意義や価値を高めるような指導を行う。	全	地域に関する意識調査の積極的肯定評価の増加(7月58.5%より5%アップ)	「心の元気アンケート」設問4～8	1月		

(2)教科



児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
(15)「1日の読書時間」が10分より少ない児童が21.2%と、県・全国平均よりは少ないが、課題があった。	○国語科の授業で、「ブックトーク」や「ビブリオバトル」などの読書に関する活動を取り入れた単元作りを工夫する。 ○家庭学習の「1日10分読書」の実施を推進する。	全	「10分より少ない」児童を15%未満	「読書ウィーク」児童アンケート	11月 2月		
(32)「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」の項目の否定的評価が22.8%と、やや課題があった。	○授業の中で、普段の生活に関わる活用問題を取り入れる。	全	否定的評価15%未満	児童アンケート	1月		
(45)「理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか」の項目の肯定的評価が59.1%と課題があった。	○これまでに獲得した知識を適用する場面(予想・考察・振り返り)の重要性について意識した授業を展開し、各自の考えを交流する機会を積極的に取り入れていく。	3～6年	肯定的評価65%以上	児童アンケート	1月		